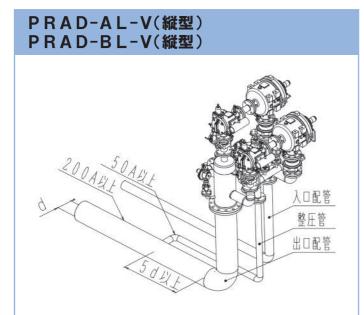
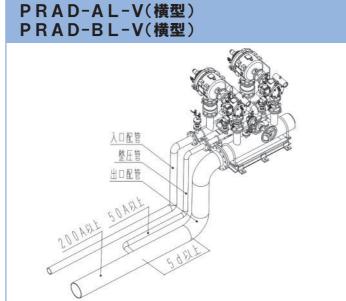
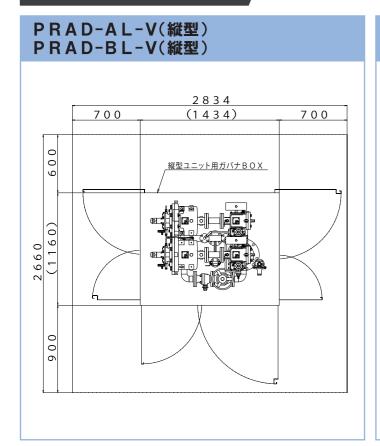
整圧管の取り回し

※整圧管の取り回しについては、直管部5d以上必要です。





メンテナンススペース



PRAD-AL-H(横型) PRAD-BL-H(構型) 400 (1434)400 5 0 A 200A 0 0 6 横型ユニット用ガバナBOX

フリーダイヤルFAX 0120-110227

●お問い合わせは

滋 智 工 場 〒521-0323 滋賀県米原市村木930番地 営業開発部/東京事務所 〒105-0014 東京都港区芝3丁目24番3号 芝ASビル5階 TEL 03-3456-6513 FAX 03-3456-6514 営業開発部/名古屋事務所 〒451-0064 名古屋市西区名西2丁目33番10号東芝名古屋ビル8階 TEL 052-856-3802 FAX 052-856-3801 営業開発部/大阪事務所 〒579-8037 大阪府東大阪市新町8番6号 営業開発部/九州事務所 〒816-0901 福岡県大野城市乙金東4丁目3番25号

TEL 072-981-3781 FAX 072-987-6590 TEL 0749-55-1041 FAX 0749-55-1045 TEL 072-942-0782 FAX 072-982-2210 TEL 092-513-0021 FAX 092-513-0023





パイロット式AL·BLガバナ

PRADAL BL

PRADシリーズに低圧用のラインナップを拡充



PRAD-AL-V(縦型) PRAD-BL-V(縦型)



PRAD-AL-H(横型) PRAD-BL-H(横型)



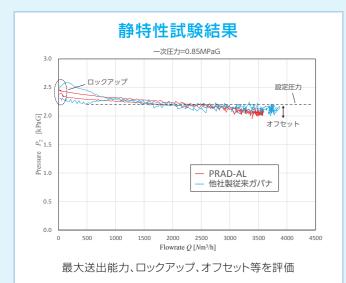


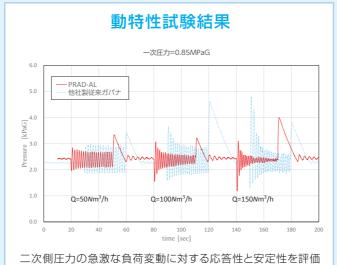
PRAD-AL・BLの特長について

優れた整圧性能

パイロットライン設計最適化(下記①②)により 応答性·安定性の高次元化が可能となりました。

①内部容積の極小化 ②絞り形状等の最適化





優れた維持管理性

ガバナユニット全体設計最適化(下記①②)により 容易に分解点検が可能となりました。

- ①メインバルブを軸流式の採用・遮断弁とフィルターの 一体化により部品点数の低減
- ②主要機器全てがユニット側面からアクセス可能な構造

共通標準仕様書

型式		PRAD-AL	PRAD-BL	
		2. 30kPa設定		
入口圧力(MPa)		0.30~0.99	0.06~0.30	
出口圧力 (kPa)	メインライン	2.30±0.20		
	サブライン	2.10±0.20		
閉塞圧力 (kPa)	メインライン	地区仕様:2.50、専用仕様:2.70		
	サブライン	地区仕様:2.30、専用仕様:2.50		
安全弁 (kPa)	吹き始め	2.90±0.05		
	吹き止まり	2.75以上		
手動復帰式 遮断弁 (kPa)	メインライン作動	地区仕様:2.70±0.15、専用仕様:3.50±0.15		
	サブライン作動	4.50±0.15		
	復帰方法	手動 (シグナル引張) による復帰		
入口接続		JIS 10K 80A フランジ(FF)		
出口接続		JIS 10K 200A フランジ(FF)		
整圧管接続		JIS 10K 50A フランジ(FF)		
質量(kg)		PRAD-AL/BL-V: 約421、PRAD-AL/BL-H: 約519		
ストレーナメッシュ数		400 メッシュ		

PRAD-BLは、容量を重視したベンチュリ絞りタイプ、 応答性を重視した固定絞りタイプを用意しています。

※本性能曲線は、流速が20m/s以下となる出口配管口径にした場合のデータです。

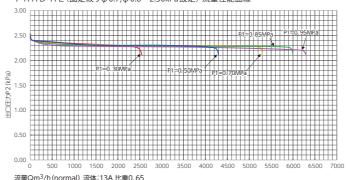
※流量 Q m²/h(normal) 流体: 13A 比重0.65

AL

単位:m3/h (normal):比重0.65

最大流量						
出口設定	严力(kPa)	2.30				
糸	交り	固定絞りφ0.7、φ0.8				
	0.30	2450				
3.05.1	0.50	4200				
入口圧力 (MPa)	0.70	5200				
(IVII a)	0.85	5900				
	0.95	6200				

PRAD-AL (固定絞りφ0.7,φ0.8・2.30kPa設定) 流量性能曲線

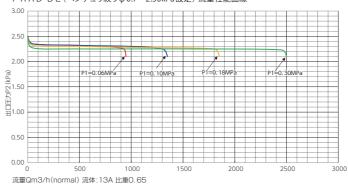


BL

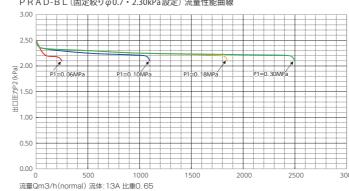
単位:m3/h (normal):比重0.65

最大流量								
出口設定	严力(kPa)	2.30						
糸	交り	ベンチュリ絞りφ0.7	固定絞りφ0.7					
	0.06	930	230					
入口圧力	0.10	1300	1050					
(MPa)	0.18	1800	1800					
	0.30	2450	2450					

PRAD-BL (ベンチュリ絞りφ0.7・2.30kPa設定) 流量性能曲線

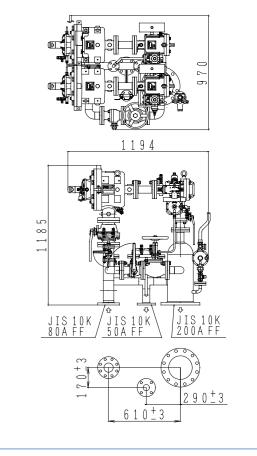


PRAD-BL (固定絞りφ0.7・2.30kPa設定) 流量性能曲線

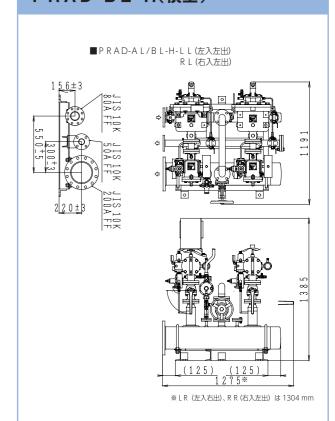


ユニット寸法

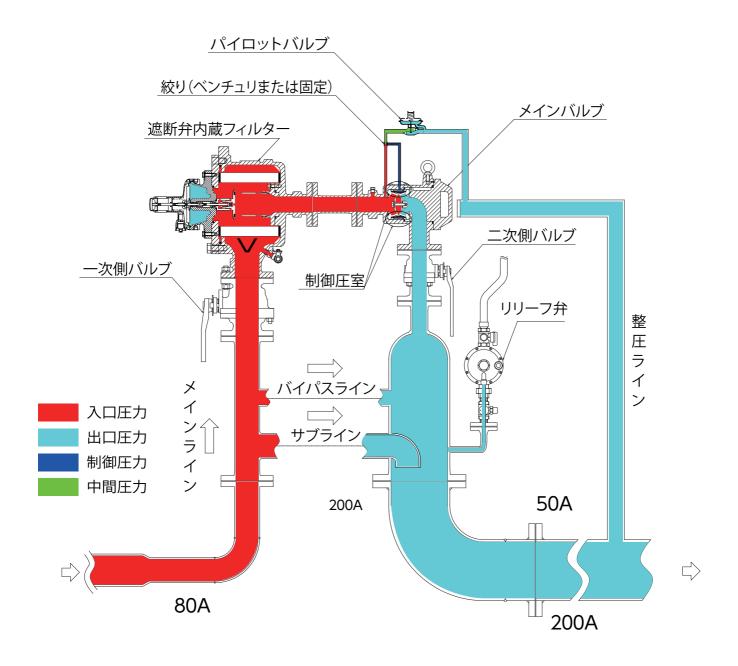
PRAD-AL-V(縦型) PRAD-BL-V(縦型)



PRAD-AL-H(横型) PRAD-BL-H(横型)



フロー図



PRAD-A(B)L

上流側から、一次側バルブ⇒遮断弁内蔵フィルター⇒パイロットバルブ・メインバルブ⇒二次側バルブ⇒リリーフ弁を通り出口配管へ抜けます。サブラインも同様の構成となっています。

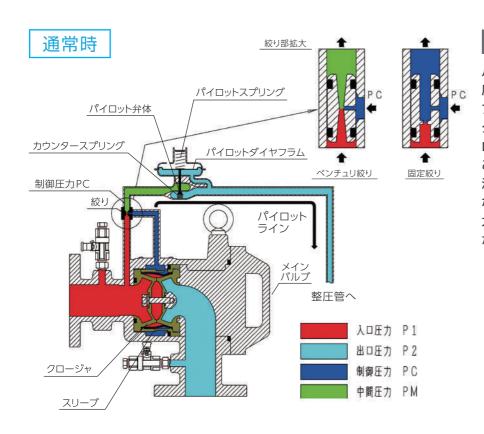
手動にて供給流量の調整可能なバイパスラインを備えています。バイパスラインは、メンテナンス時等、ガバナを動かせない時に人力で下流側の圧力をコントロールする場合や、突っ込み防止のため下流側へ予め圧力を入れたい場合に使用されます。

突っ込みとは、下流側に圧力がない状態で一次側バルブ又は二次側バルブを開くと、ガバナの設定圧力を大きく超える圧力が二次側へ入ってしまう現象のことです。

パイロットラインとは、メインバルブの弁開度を調整している本線とは別系統の流路で、メインバルブ上流側の分岐部から出口配管と整圧管の合流部までを指します。

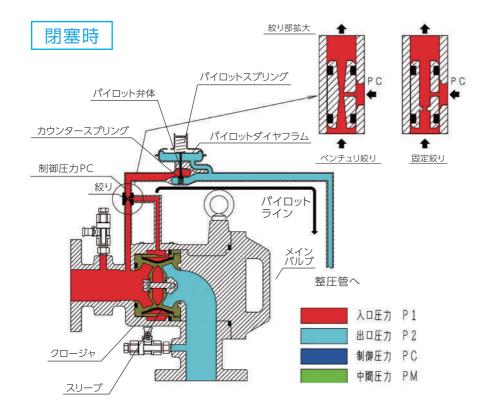
整圧ラインとは、パイロットバルブのダイヤフラム室に出口圧力を導入するための流路で、パイロットバルブ 下流から出口配管と整圧管の合流部までを指します。

作動原理



通常時

パイロットダイヤフラムにかかる出口 圧力(P2)による荷重とカウンタース プリングの荷重が、パイロットスプリン グの荷重とつり合っているため、パイロット弁体が一定開度で動きません。 このため、パイロットラインを一定の 流量が流れ、制御圧力(PC)が一定と なりメインバルブのスリーブ内外の圧 力がバランスするため、一定量のガス が出口側に流れます。



閉塞時

パイロットダイヤフラムにかかる出口圧力(P2)による荷重とカウンタースプリングの荷重が、パイロットスプリングの荷重に打ち勝ち、パイロットバルブの弁が閉止します。このとき、パイロットバルブの弁が閉止しているので、絞りの前後は同じ圧力(P1=PC)となります。このため、メインバルブのスリーブが制御圧力(PC)によりクロージャに押し付けられ、メインバルブが閉塞します。